

# やつおもて

第4号 (2014年7月)  
編集発行：和田公民館  
協力：公民館運営推進委員  
電話：(45-1918)  
eメール:wada-k@ph-hamada.jp

## ～和田地区 いろいろ見て歩く記～



う～のはな～の  
におうかきねに



ほ～ととき～す  
はやもきなきて～



みなさん、こんにちは。いかがお過ごしですか？梅雨に入り、すっきり晴れた日が少なく寂しいですが、雨も生活に欠かせない大切な物。梅雨を楽しく過ごす方法を見つけたいものです。みなさんはどうしておられるのかつぬにも教えて下さいね！

### 和田地区の歴史コーナー

さて、前回に続いて和田地区にある古墳について、ふるさと歴史公園にある資料から紹介しましょう。

#### 《小才遺跡》

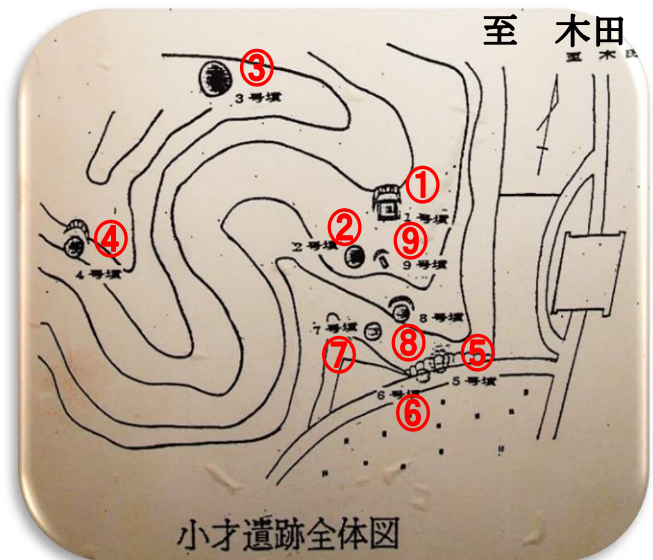
この遺跡は、和田の天津谷にあります。浜田道と交差する防六線の左手、標高約280mの丘陵斜面から谷にかけて分布しており、古墳12基と横穴2基が確認されていますが、3号墳を除き消滅しています。(1995年3月現在)

今回は1号墳について島根県教育庁文化課の資料(1990年6月3日付)の中から紹介します。

#### ◆1号墳◆

丘陵斜面の山側にコの字型の溝を掘り込み、谷側には石を列状に配置して四角いマウンドを築いています。大きさは一辺約7m、高さ1.5mと推定されます。さほど大きな古墳とは言えませんが、この地域では珍しい四角い形のもの(方墳)です。埋葬する施設は横穴式石室と呼ばれるもので、一抱えほどの石を石垣状に積み上げた後、数トンもある大きな石を天井石として載せ、横から出入りできるようにして何度も埋葬することが可能な構造を持っています。

奥行き5.5m、幅1.5m、高さ1.3mあまりの大きさで、この地域では大きな規模のものといえます。調査途中ですが、石室の入り口部を中心に100個以上もの土錘(どすい・網に使用する素焼きのおもり)が出土したほか、石室内では鉄釘、鉄の矢じりなどが見つかっています。



小才遺跡全体図

# 相談は 心を助ける 百十番

続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです。

## 牛若丸は和田地区に来ていた！？

—防六をあおぎてより—



みんな知ってる？あの牛若丸（後の源義経）が和田地区に来ていたらしい事。その証拠が、重富から都川に抜ける石浦峠にあるんです。あの頃、つぬは、まだ重富に来ていなかったけど、もし居たら……

私は牛若丸をこの地に引き留めていたわ。そしたら、跡市から攻めてきた3千の敵にもきっと負けなかったわ。私達48人でも、戦さ上手な牛若丸を先頭に、地の利をいかしてさんざんにやっつけることができたと思うの。



ところで、牛若丸が和田地区に来たその証拠は、石浦峠の頂上から山路を左手に100メートルばかり入った所にある大きな岩なの。一抱えもあるその岩の表面には、大人の親指位の大きさの溝が、横に払ったようにあり、「牛若丸が刀で傷付けた」といういわれがあるんです。（牛若丸の刃傷岩）

京の五条の橋の上で弁慶と闘ったイケメン牛若丸、会いたかったわ！！

（文・絵 佐々岡健次）



## つぬの町の話題コーナー

色白な私、かわいいでしょ！

本郷の大賀博さんのおうちにいます。黒くてつぶらな瞳に見えるのは実は模様なんです。みんなには人面魚とも言われています。さて、本物の目はどこにあるでしょう？



## 館長の今月の故事・ことわざ

いちひき にさい さんがくもん

### 1引、2才、3学問

出世するには、第1は上の人引立て、第2は才能で、学問の有無は3番目だということ

## 八戸川よもやま話 その②

今回は、漁法について少し話してみよう。

各々の魚種において、網漁では、投網、縦網（刺し網）、ホーリユウ網、にごり掛網、



ぎぎ 陸に出すとギーギー音を出すのが名前の由来

の四種類があり、その内、縦網は禁止されていたが、平成15年より許可制により使用できるようになった。竿漁では、餌釣、友釣、チャグリ、ドブ釣、引掛毛針釣、最近では疑似餌釣も行われるようになった。その他、手釣、穴釣、つけ針、籠漁、梁漁など沢山の漁法があり、魚の種類や魚の

習性によってそれぞれの漁法を使って楽しみ、また、鮎の漁獲量などは、生活の支えとしていた時代もあった。

更には、海の魚は手に入らず冬期は山猟、夏期には川漁によって生活に必要な栄養源を取っていたことは先人達から言い伝えられている。では、竿釣りの中で代表的な、鮎の「友釣」について話してみよう。鮎は一年魚で、秋に産卵が終われば一生が終わるといいう短い命であり、それだけの期間に全てのことを終える為には厳しい生存の日々を送っているのである。春先水温が上がる時期を待って海から川へ移り、上流へと遡って八戸川に来た頃には体長5～10センチ位にやせ細っていた。（ダム建設以前）

かわむつ 「ほんばえ」と呼ばれよく知られて

我が身を守るため集団で生息し、成長するに従って単独となり自分の生活の場所を持つようになる。更には縄張り意識が強くなり、他の鮎が近づけば「エラ」又は「アギ」とも呼ぶ部分を膨らませて威嚇したり、時には食い掛かることもある。その習性を利用して、



罎鮎を使う漁法が「友釣」である。鮎の鼻に糸を通し（現在はハナカンを使用している）罎鮎を上手に操ると仕掛けた針に鮎が掛る。鮎の習性をよく知る事と罎鮎を操る技術が必要であるが、ある程度身につけばこの漁法が一番楽しまれ、釣人の醍醐味が味わえる。漁協には全国大会の出場権を得た組合員もいる。（文・榎本泰弘）

## 和田の初夏に咲く草花



ツルアジサイ（蔓紫陽花）

アジサイ科の落葉つる性木本木や岩に気根と呼ばれる根を張り成長する蔓性の紫陽花。まわりの木が葉を出す前に花を咲かせるので、撒きつかれて木に花が咲いたように見える。花言葉は一家団欒。



次は、前回募集しました「私の好きな桜」紹介コーナーです。

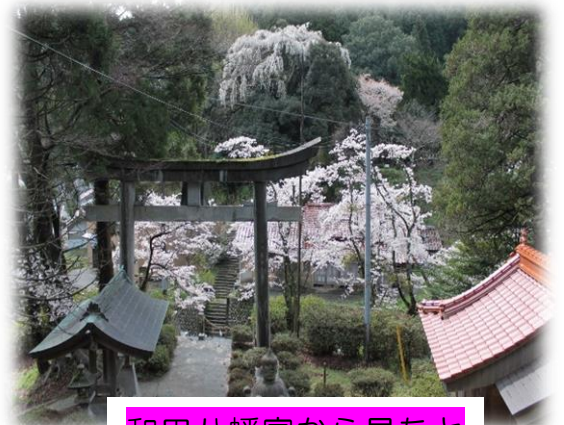
## 一押し！東向寺のしだれ桜(ヒガンサクラ)

今年は、どこの桜も枝が折れんばかりに沢山の花をつけて私も毎日桜並木を“わあ～きれいね～！”と言いながら通ります。

“でも、私は東向寺の桜が1番好き！”

隣の椎の樹（浜田市指定名木、幹廻り4,8m）さんに風よけになって貰い助けられて、桜も寄り添うように立っています。ちなみに、この桜も浜田市指定名木、幹廻り3m、高さ17mです。桜も椎もかなりの老木です。今年は、ひときわ美しく、いっぱい花をつけています。

日頃風よけになってくれている椎の樹さんをやさしく包み込み、白いショールを掛けて花冷えから守ってあげているみたいです。アングルによるとベレー帽をかぶせたようにも見えます。長き世のうつろいを語るすべもなく、じっと春を待ちつつ今年もまた、恥じらいと妖艶さを秘めて一生懸命咲いてくれています。ぜひ1度会いに来てやって下さい。（投稿 和田町 岡本セツコ）



和田八幡宮から見たと

◆この他にも、桜の写真をいただきましたので、ご紹介します。◆



### あ と が き

もうすぐ暑い夏がやってきます。熱中症にはくれぐれも気を付けましょうね。これから、冷たい飲み物を利用する機会が多くなります。ペットボトルを飲み終わったらキャップを洗って、乾かして、公民館に持ってきて下さいね。860個で1人分のポリオワクチンを世界の子供たちに届けることができるそうです。小さなキャップでも誰かの役に立つなんて、素敵なことです。濡れたままだとカビが生えて使えなくなったりするのでよく乾いてから届けて下さい。お待ちしております。（美）